

私は、ニュージーランドで羊をたくさん見ることが目標で、自分の英語をためすのが目的でした。

最初の方の事前研修ではとてもきんちょうしていて、仲間達とは話しませんでした。ですが、いざ親とはなれると、話せるのは一緒に行く方達だけなので、たくさん話しました。少し仲良くなれたような気がします。

「いってきまーす」と言ってから割りとおっさりニュージーランドにつきました。少しずつ日本人は減っていきましたが、外国に来たという感じはしませんでした。そしてすぐホストファミリーに会って、ホームステイ先に行って一日が終わりました。時差のせいもありますが、一日が早く感じられました。

学校はとても広く、トイレに行くのも一苦労でした。現地の生徒は、留学生になれている感じでした。ランチボックスはとても大きく残してしまいましたが、帰りのバスで、バディがお腹すいたとっていて、びっくりしました。細いのによく食べるなと思いました。バスの中では、小さい男の子が、バディのウォーターボトルを使い、みんなに水をぶっかけていてびっくりしました。かけられた人もoh!と言うだけで特に気にしていない様子でした。見ていて少しおもしろかったです。

ホストファミリーとは、川に行ったり、カーレースや美術館を見に行ったり、トラムという乗り物に乗ったりしました。とてもやさしい家庭で、過ごしやすかったです。

クライストチャーチは、支配されていたイギリスの影響が強いのか、ヨーロッパ風の街並みでした。楽しかったです。

羊、アルパカ、牛、馬、鳥、ペットでは犬、猫、うさぎなどが多く飼われていました。鳥は日本とは全くちがいで、よく見かけるのはカラスよりは小さくすずめよりは大きいくらいのサイズの鳥でした。すずめに似ている鳥がいました。オークランドには、ハトが多くいました。牛は、色は同じですがなんとなく洋風な感じがしました。うさぎのことをバニーと呼んでいました。羊、馬、アルパカは、基本的に放し飼いで、のんびり過ごしているように見えました。たしかにニュージーランドは、空がきれいだし、自然が豊かだし過ごしやすと思います。それに、生き物がたくさんいて私にはぴったりでした。

目標の羊は予想以上にたくさん見ることができ、英語でも交流することができました。ニュージーランドの人は、見た目など細かいことを気にしていなくて、日本の人は気にしすぎだと思います。そして本当に自然が豊かで、人がやさしいです。日本もこういう風になればいいと心から思います。

この貴重な体験は、一生心に残ると思います。学んだことを活かし、他国にほこれるような国になるよう、日本人として、しっかり楽しく生きたいです。